

不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成22年10月5日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

区分 : 該当なし

その他 : 7 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	3号機	原子炉冷却材浄化系漏えい検出計において、指示値不良(緩やかに上昇)が認められたため、当該計器を点検。(関連パラメータに異常なし)	G	
2	4号機	原子炉冷却材浄化系逆洗受ポンプ(B)点検時、カップリングボルトに変形固着(1本)が認められたため、当該ボルトを交換。	G	
3	4号機	加熱蒸気戻り系フラッシュタンクドレン弁において、シートリークが認められたため、当該弁を点検補修。	G	
4	補助ボイラー	補助ボイラー棟地下1階フラッシュタンク室において、加熱蒸気戻り系配管に蒸気漏れ(ポヤポヤ)が認められたため、当該配管を修理。	G	
5	その他	水処理建屋空気圧縮機(A)点検時、Vベルトカバー取付ボルト部に腐食による欠損が認められたため、当該カバーを修理。	G	
6	その他	水処理建屋送泥ポンプ(B)点検時、中間軸受と軸間寸法に管理値外れが認められたため、対応検討。	G	
7	その他	低レベル放射性廃棄物搬出検査業務(委託)において、雑固体廃棄物固型化養生記録に確認結果の未記載(スタンプ押し忘れ)が認められたため、対応検討。	G	